

特集  
1

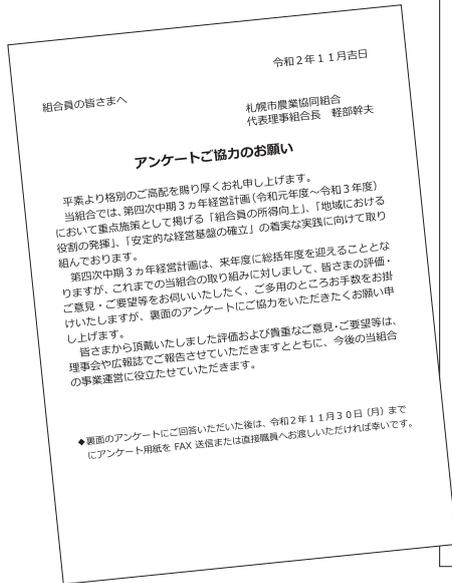
令和2年度

# 組合員アンケート 集計結果報告

JAさっぽろでは、第四次中期3カ年経営計画(令和元年度～令和3年度)において重点施策として掲げる「組合員の所得向上」、「地域における役割の発揮」、「安定的な経営基盤の確立」の着実な実践に向けて取り組んでおります。

令和3年度に総括年度を迎えるにあたり、これまでの当組合の取り組みに対する評価・ご意見・ご要望等をお伺いするために、正組合員の皆さまを中心に昨年11月に「組合員アンケート」にご協力いただきました。

このアンケートの集計結果及び寄せられたご意見・ご要望につきましてご報告いたします。



JAさっぽろ ●●●支店 行き  
 (FAX (011) ○○○-○○○○) (お問合せ ●●●支店 TEL (011) ○○○-○○○○)  
 FAX 送信または直接職員へお渡しください。 回答期日: 令和2年11月30日(月)まで

**組合員アンケート JAさっぽろの取り組みについて**

下記の内容についてお伺いしますので、ご記入のほどお願い申し上げます。  
 ※該当するもの(番号)に○を付けてください。

性別 1.男性 2.女性 年齢 ~20代・30代・40代・50代・60代・70代~

JAさっぽろの下記取り組みについて、どのように評価しますか。  
 <評価> 5:満足 4:やや満足 3:普通 2:やや不満 1:不満 0:わからない

1.「組合員の所得向上」に向けた取り組みについて

事業	取り組み	評価
経済事業	販売専任担当者を配置し有利販売(相対・直売所取扱等)を拡大	5 4 3 2 1 0
	予約購買、肥料引取奨励等の各種奨励施策による生産コスト低減	5 4 3 2 1 0
相談事業	「よろずサポート相談員」の訪問活動等による資産有効活用の相談対応	5 4 3 2 1 0
信用事業	組合員専用の金利上乗せ貯金商品の取り扱い	5 4 3 2 1 0

2.「地域における役割の発揮」に向けた取り組みについて

事業	取り組み	評価
経済事業	消費者へ地元の農業・農畜産物の理解を深めるための札幌伝統野菜や札幌のブランド野菜を先頭にしたPR活動	5 4 3 2 1 0
経営管理	「1統括支店1協同活動」を中心とした地域の子供達への食農教育活動	5 4 3 2 1 0
	農業や協同組合についての理解を深める北海道大学と連携した公開講座の開催(受講者88名・内、正組合員5名)	5 4 3 2 1 0

3.「安定的な経営基盤の確立」に向けた取り組みについて

事業	取り組み	評価
経営管理	内部留保増強による自己資本比率の向上(H30:10.92%、R1:11.62%)	5 4 3 2 1 0
	食と農でつながるサポーターズクラブの一環とした、「准組合員向けコミュニティ情報誌」の発行や「准組合員コンベンション」の開催	5 4 3 2 1 0

【ご意見・ご要望】 ※ご自由にご記入いただけましたら幸いです。

各事業について	
支店・経済センターについて	
その他	

ご協力いただき誠にありがとうございました。

## 【アンケートにご協力いただいた組合員の属性】

(単位:人)

性別	年齢	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	未記入	計
男性		0	2	8	19	25	74	1	129
		0.0%	1.0%	4.2%	9.9%	13.1%	38.7%	0.5%	67.5%
女性		0	0	7	7	8	38	0	60
		0.0%	0.0%	3.7%	3.7%	4.2%	19.9%	0.0%	31.4%
未記入		0	0	0	0	0	2	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%
計		0	2	15	26	33	114	1	191
		0.0%	1.0%	7.9%	13.6%	17.3%	59.7%	0.5%	100.0%

※比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

1、「組合員の所得向上」に向けた取り組みについて

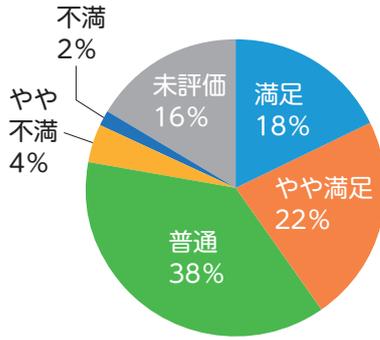
農業所得の増大に向けては、相対取引と直売所取り扱いの拡大と共に、各種奨励策による生産コストの削減に取り組んでいます。組合員の多様化・高度化するニーズには、総合事業体としての機能を発揮することで取り組んでいます。

経済事業

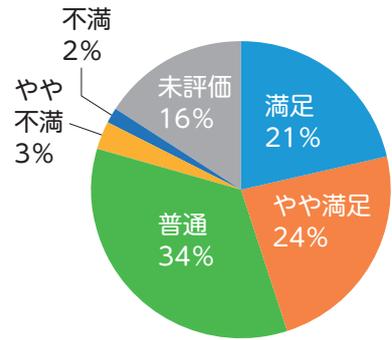
① 販売専任担当者を配置し有利販売（相対・直売所取扱等）を拡大



直売所間の連携を強化し、地区特産品の融通などにより品揃えの充実に取り組んでいます。



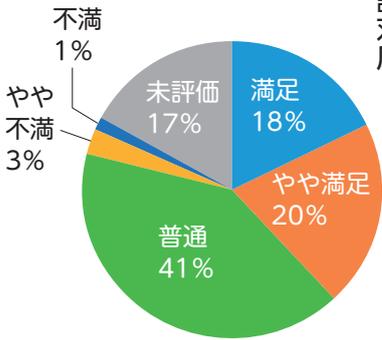
② 予約購買、肥料引取奨励等の各種奨励策による生産コスト低減



戸別訪問を軸とした予約購買推進を行ない各種奨励策の周知と利用向上に取り組んでいます。

相談事業

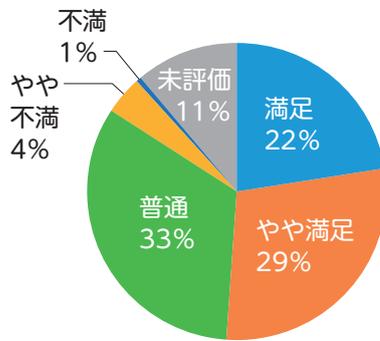
① 「よろずサポート相談員」の訪問活動等による資産有効活用の相談対応



組合員限定の貯金キャンペーンや年金優遇定期貯金などをご利用いただいています。

信用事業

① 組合員専用の金利上乘せ貯金商品の取り扱い



満足・やや満足の合計が 51%



資産の有効活用や建て替え等の相談について組合員のニーズに応じた提案を行なっています。

2、「地域における役割の発揮」に向けた取り組みについて

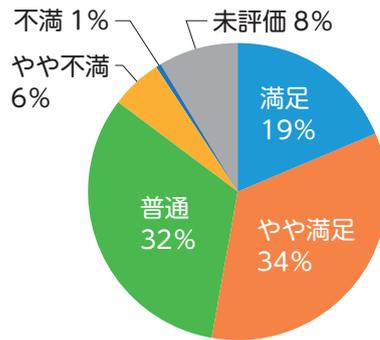
地域住民の方々へ農と食に対する理解促進を図ると共に、生産者と消費者をつなぎ、安定した消費基盤の実現に向けて取り組んでいます。

経済事業

① 消費者へ地元の農業・農畜産物の理解を深めるための札幌伝統野菜や札幌のブランド野菜を先頭にしたPR活動



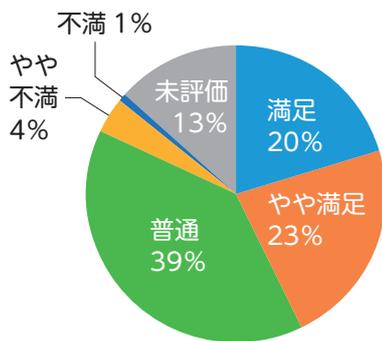
札幌伝統野菜「札幌黄」のPR販売などを行なっています。



満足・やや満足の合計が 53%

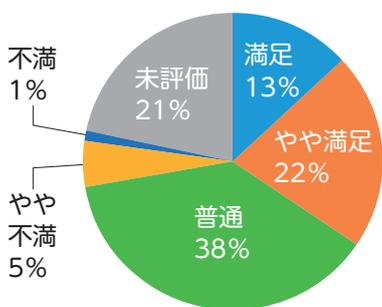
経営管理

①「1 統括支店1 協同活動」を中心とした地域の子供達への食農教育活動



組合員と共に「食を支える農」への理解を広げる活動を行っています。

② 農業や協同組合についての理解を深める北海道大学と連携した公開講座の開講



満足・やや満足の合計が35%で最も低く、未評価の割合が最も高い



令和元年度は、北大構内で全4講座を開講しました。〔受講者88名・内、正組合員5名〕

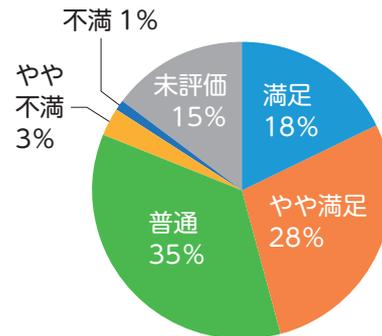
3、「安定的な経営基盤の確立」に向けた取り組みについて

J Aを取り巻く情勢の変化、足下の環境の変化を踏まえ、さらなる経営の合理化・効率化に取り組んでいます。

経営管理

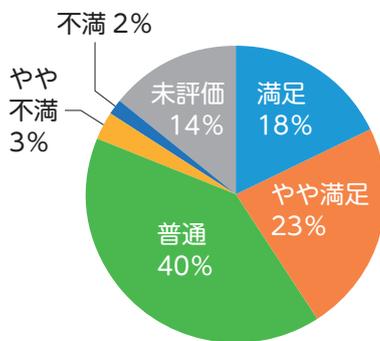
① 内部留保増強による自己資本比率の向上

〔平成30年：10.92%、令和元年：11.62%〕



※自己資本比率は、国内基準を採用する金融機関では4%以上、JAバンクでは自主的な取り決めにより8%以上が必要とされています。

② 食と農でつながるサポーターづくりの一環とした、「准組合員向けコミュニケーション誌」の発行や「准組合員コンベンション」の開催



准組合員も地域を支える協同組合の仲間であり、農業やJAとつながり、価値観の共有に取り組んでいます。



総括

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から地区別懇談会の開催を中止させていただいたことも影響し、アンケートへのご協力は191名でありましたが、当組合の取り組みに対しまして貴重なご意見をいただきました。

各取り組みに対する評価としまして、「満足」・「やや満足」とご回答いただいた方の割合が50%を超えた項目は、「組合員専用の金利上乘せ貯金商品の取り扱い」、「消費者への地元産の農業・農畜産物の理解を深めるための札幌伝統野菜や札幌のブランド野菜を先頭にしたPR活動」の2項目に留まっております。また、「満足」・「やや満足」とご回答いただいた方の割合が最も低く、「未評価」の割合が最も高かった項目は、「農業や協同組合についての理解を深める北海道大学と連携した公開講座の開講」となっております。ご記入いただいた、ご意見・ご要望からも具体的な取組内容の周知が不足している、「取り組みを強化する必要性がある」といった評価をいただいたものと受け止めております。

## ご意見・ご要望

皆さまからいただいた、ご意見・ご要望の一部をご紹介します。なお、誌面の都合により、内容は一部簡略化しております。

### 改善提案に関するご意見

● 大手通信販売サイトを利用して農産物を販売してほしい。

(女性・70代)

● 札幌では都市化の進行により担い手や耕作地は減少しており、今後増加させることは難しいと思います。農協事業も農業に関連する色々な方向に展開していったほしい。

(男性・70代)

● 経済事業における農協の取り組みが生産者の所得向上に繋がっているのか、繋がっていないのか現状がわかりません。生産者の生の声を広報誌「虹の大樹」等で伝えてほしい。

(男性・70代)

● 各支店に農業指導者を配置してほしい。

(男性・70代)

● 生産コスト低減のために農業機械等を共同利用できる仕組みを作してほしい。

(男性・70代)

● 新しく直売所が開設されますが、各直売所に各地域の農産物が行き渡るようにしてほしい。また、各支店でも来店者に直売所のPRをしてほしい。

(男性・70代)

● 廃プラスチックの回収は業者が各農家を回るようにしてほしい。

(男性・未回答)

● 量販店では見かけない野菜の種類を店舗で販売してくれると嬉しい。その野菜の育て方や食べ方などを広報誌で紹介してみてもいいでしょうか。

(女性・60代)

● ほうれん草・小松菜等の葉茎菜部会などの経済部会の再編が必要であると思います。直売所も部会

組織の1つに加えることで全店での販売が活発になると思います。

(男性・50代)

● 生産者の高齢化に伴い、農作業の作業効率を上げたり負担を軽減できるように農業機械のリースや人材の派遣ができる仕組みをつくることはできませんか。

(女性・40代)

● 農産物の生産量を維持するためにも、生産農家個々の経営実態と長期展望を把握することが必要であると思います。特に後継者不在の農家に対して新規就農希望者への農地貸与・売却等に結びつくアドバイスが必要であると思います。

(男性・70代)

● 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、部会活動や職員の訪問活動を制限・自粛していますが、コロナがおさまれば早急に研修会・会議等を開催してほしい。

(男性・70代)

● 北大の公開講座を受講しました。中国や韓国の先生の熱心な講義

でしたが、もっと北海道的な具体的なお話も伺いたかったです。

(女性・60代)

● 不動産関係職員の人事異動は多少ゆとりがほしい。

(男性・未回答)

● 事業運営に関して支店間(地域間)の格差是正・平準化の方策・努力が必要であると思います。

(男性・70代)

● 支店再編および経済センター合理化にあたり、組合員へのサービスが低下することが無いようにしてほしい。

(男性・70代)

● 資産活用や相続などの組合員が抱える様々な問題の相談に乗り、共に解決することができる若手職員の育成を図る必要があると思います。

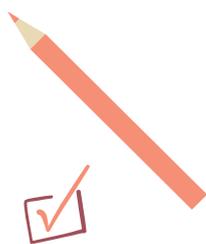
(男性・70代)

● コロナウイルスで多くの人が困っています。そういう方々を少しでも助けてあげられる方法を考えても良いと思います。

(男性・70代)

その他「意見」

- 札幌伝統野菜は頑張ってほしい。  
(男性・未回答)
- 「意欲的に農業に取り組む生産者を後押しする」具体的な計画を立て、実行できていない。  
(女性・40代)
- 補助金や給付金についての組合員への情報提供が足りません。教育不足ではないですか。  
(男性・40代)
- 肥料や農薬等について経済センターでの販売価格が高いと思います。  
(男性・70代)
- 直売所の野菜は大変鮮度は良いと思いますが、商品によって価格が高いものを良く見かけます。  
(男性・70代)
- コロナ禍でも皆さん頑張っているとあります。今後とも士気を下げずに前向きに頑張ってください。  
(男性・50代)
- 実態がわからない項目は評価できない。  
(男性・70代)
- 今は職員の顔や名前がわかる。身近な支店活動ができていて最良です。  
(男性・70代)
- 事業優先で組合員とのコミュニケーションが不足していると思います。  
(男性・50代)
- 窓口担当の方がとても感じが良く、よく教育されていると思います。今後も継続してください。  
(男性・70代)
- こちらが知りたいこと、困ったこと、気付かなかったことまで丁寧に対応していただき感謝しています。  
(女性・50代)
- 支店再編および経済センター合理化により利便性が無くなり、組合員離れに繋がるのではないのでしょうか。  
(女性・40代)
- 今回のアンケートのように組合員の意見や要望を汲み上げる取り組みは良いことだと思います。  
(女性・60代)
- 日頃より新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組んでいただき感謝しています。今後も緊張感をもって組織全体で取り組んでください。  
(男性・50代)
- 支店の統廃合をもっと早く進めたい方が良いと思います。  
(男性・60代)
- コロナ禍で経済が疲弊する中であって、計画を上回る事業実績であったこと、役職員の努力に敬意を表します。  
(男性・70代)
- コロナ感染には十分注意され、組合員並びに地域発展のため、更なる活躍を期待しています。  
(男性・60代)



組合員アンケートにご協力いただきありがとうございます。今回のアンケート結果を基に、取り組みの改善を図ると共に、引き続き、さまざまな機会でご組合員の皆さまからのご評価・ご意見・ご要望をお伺いし、当組合の事業運営に活かしてまいります。

# 自分史の書き方

## 作り方講座



これまでの人生で起こった出来事を、自分の歴史として文章に書き記す自分史。

経験や知識を家族や友人に伝えると同時に、これからの人生をどう生きるか考えてみましょう。

監修／一般社団法人終活カウンセラー協会代表理事 武藤頼胡  
<https://www.shukatsu-csl.jp/>  
 イラスト／出口由加子



**自分の生きた証しを  
伝えたい人に文字で残す**

古くは「隠居」という慣習がありました。先人は隠居することで社会の第一線から退き、これまでの人生を振り返りながら、後世に残る人たちに自らの生きざまを伝える時間を設けていました。

生涯現役といわれる現代では、自分自身の人生の総まとめとして自分史を作るのです。その目的は、これからの人生を、生きがいを持ってより楽しく過ごすためです。

自分史と聞くと自叙伝をイメージされる人が多いようです。「いえいえ、私なんて平凡に生きてきただけで書くことはない」などと考える人がいるかもしれません。実は、自分史というのは、もっと気軽に楽しく作ることができます。

**思わぬ感謝に出会える  
「人生の棚卸」**

自分史の意義は、自分自身の「人生の棚卸し」ができることです。これまでの自分の人生とじっくり向き合うことで、その意味を考えるきっかけになるのです。

「何か話せば、きついことを言う人だから」などと、近所にいながら最近はずき合いない人。しかし、あらためて思い起こしてみれば一家

**自分のため、家族のため、  
感謝を伝えたい全ての人に**

人生の節目が、自分史を作る格好のタイミングになるでしょう。定年退職や還暦などを契機に自分史に取り組む人が多いようです。もちろんタイミングは人それぞれ。子どもの結婚や、母が亡くなった年齢と同じ年になったなど、あらかじめ自分で節目を決めても良いですね。

自分史は誰に対して書くのでしょうか。まずは、これから人生を歩み続ける自分自身のため。自分史は長生きを楽しむための振り返りでもあります。書くのは一度だけに限らず、続編を作っても良いと思います。新しい家族に対しては、自分自身が生きた証しとして残す大切なものになるでしょう。感謝を伝えたい人にもぜひ読んでもらいたいですね。

# 自分史の書き方

自分史を書く前に、まず最初にやるべきことを挙げておきます。

## 1 人生の棚卸しをする

年代ごとに自分の人生を振り返ってみましょう。幼少期(小学校入学前)、少年期(小学校～大学)、青年期(就農後)、結婚後、定年後など、ノートに書き出していきましょう。年代ごとにお世話になった人、ありがとうを伝えたい人を書き出していくと、その人にちなんだ出来事も思い出せるようになります。また、年表などを参考にと、当時流行していた音楽や好きだった食べ物などを出来事と結び付けることができます。書き出していくうちに内容が膨らんでいくでしょう。

## 2 得意なこと、好きな事柄を考える

今の自分を見つめるため、得意なことや好きな事柄について書き出してみましょう。単に「料理」のように抽象的な内容ではなく、より具体的に「ハンバーグを作るのがうまい」など、できるだけ詳しくたくさん考えるのがポイントです。

## 3 自分の個性を書き出す

個性というと抽象的で分かりにくいかもしれませんが、「好きな動物」「好きな色」「好きな言葉」「好きな本」「何を大切に生きているか」など、具体的かつ身近なことで構いません。大事なのはなぜそれを選んだかを書くことです。

人生の棚卸しで見つけた出来事をピックアップし、古い出来事から新しい出来事の順に書いてもよいし、「私の人生の〇〇大ニュース」として、順位を付けて書き進めるのも面白いですね。

## 注 否定的な内容に注意しよう

自分史は後世に残ります。「この人は許せない、好きではない」など、特定の相手に対する否定的な内容を書かないようにしましょう。ひょっとすると、その人がいたから頑張れたということもあるかもしれません。必ずや誰かが読むことを想像して、感謝の気持ちと優しさを忘れずに取り組んでください。「私の先祖はこんな人だった。つらいことはあるけど頑張ろう」と、後世の人が読んで糧になるような内容だと良いですね。

### 年表(例)

社会や身近な出来事を自分の歴史と結び付けて考えることで、あらためて人生を振り返ることができます。

社会の主な出来事や事件	流行やヒット曲	身近に起きた出来事	自分の出来事	自分の考えていたこと
〇〇〇〇年 オリンピック開催	〇〇〇〇年 〇〇〇が大流行		〇〇〇〇年 〇〇〇に合格	〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇年 〇〇〇事件	〇〇〇〇年 〇〇〇がヒット	〇〇〇〇年 〇〇〇が生まれる	〇〇〇〇年 〇〇〇に就職	〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇
		〇〇〇〇年 〇〇〇が生まれる	〇〇〇〇年 〇〇〇に引越す	〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

### ページ構成を考える(例)

あらかじめページ構成を考えておけば、各項目をリストアップするときに参考になります。

青年期 (就農後)	少年期 (高校・大学)	少年期 (小学校・中学校)	幼少期 (小学校入学前)	自己紹介	自己紹介	表紙	裏表紙 家族写真
P.7	P.6	P.5	P.4	P.3	P.2	P.1	P.16
メッセージ 家族への	家族紹介	楽しかった 思い出	楽しかった 思い出	大変だった 思い出	大変だった 思い出	定年後	結婚後
P.15	P.14	P.13	P.12	P.11	P.10	P.9	P.8

### 自分史の印刷・製本

自分史には人それぞれに目的があり、1冊しか作らない人もいれば、数千冊作る人もいます。判型やページ数など、体裁に違いがあって当然です。

手書き用紙をとじて表紙を付けるだけでも立派な自分史の出来上がり。大事なものは中身です。印刷・製本を業者に依頼する方法もあります。部数によりますが数十部程度であれば数万円から。さまざまな体裁に対応してくれるので問い合わせてみると良いでしょう。



全て手書きの1冊や、写真を使ったフォトブック形式など、自分だけの1冊を作ってみてはいかがでしょうか。



組合員の  
活動をご紹介します！

a l a c a r t e

アラカルト



## 「虹の大樹」3月号に掲載を予定していた 表紙写真をご紹介します！

毎月、広報誌「虹の大樹」の表紙には、中央支店組合員の永野拓也さんが撮影した四季折々の写真を掲載しています。今月号は、目次に記載の通り2・3月合併号とさせていただきますので、当初3月号の表紙に掲載予定だった写真をご紹介します。

なお、永野さんには来年度も引き続き写真を提供いただくこととなりました。季節を感じられる毎月の写真をどうぞお楽しみに。

### 「春の訪れ」 (北海道大学・大野池) …3月



### 撮影者・永野拓也さんのひとこと

北大構内の大野池を撮影した1枚です。浮かんでいるのはひつじ草の葉っぱでしょうか。冬の間は凍って雪に覆われてしまう大野池。春が近づくにつれ、少しずつ氷が解け始めます。もう少し暖かくなれば、葉っぱも緑になり元気を取り戻していくでしょう。春が待ち遠しい今日この頃です。(2019年撮影)



### 施主 岩村利行さん(西町支店組合員)



△オーナーの岩村利行さんと愛犬の半次郎。

名称：ツクイ・サンフォレスト札幌西野(住宅型有料老人ホーム)／敷地面積：1,384.34㎡／延床面積：1,222.96㎡／建物構造：簡易準耐火構造／居室数：43室／居室面積：12.39㎡(内法面積)

西町支店組合員の岩村利行さんの土地を活用し、住宅型有料老人ホームが建設されました。構想から約2年、建物を施設の運営会社であるツクイホールディングスに賃貸する形で、2月1日に「ツクイ・サンフォレスト札幌西野」がオープンしました。

「自宅周辺の土地を何か活用できないかと」Aの担当者に相談したのをきっかけに、今回の事業に至りました。これまでもアパートでの土地活用は行なってきましたが、高齢者施設として建物を賃貸するという提案を受け、個人的にも福祉の分野に興味があったことから、地域の役に立つ事業になればと思い決断しました」

内装などは運営会社の意向を反映した作りになっており、居室数は43室。トイレと洗面台は各居室に設置され、浴室や洗濯乾燥機は共用スペースに備えられています。1月のお披露目会の際には、岩村さんも見学されました。

「高齢者施設の形態は色々ありますが、今回の施設には自立した生活を送る方から要支援・要介護の方まで幅広く入居できるそうです。入居される方にとって食事は大きな楽しみの一つかと思いますが、お披露目会では、私も施設で調理されたお弁当をいただきました。彩鮮やかでとても美味しく、毎日食べに來たいと思ったほどです。この辺りは、子どもから高齢者まで老若男女が暮らす住宅街。大きな商業施設もタクシーやバスですぐですし、高台で静かな環境なので入居される方も暮らしやすいと思いますよ。施設と自宅の間には畑があり、ブドウやキウイを作っています。畑を眺めて季節の移ろいを感じることで入居される方の癒しになればと思うので、しばらくは続けていきたいと思っています」

最後に今回の事業の満足度を伺いました。

「施設を建設した場所は、元々自宅が建っていた場所です。2年余りで新居の建設・引っ越し・取り壊し・施設の建設と目まぐるしく進んでいきました。無事に完成し、入居も始まるということで一段落つき、ほっとしています。今回の建物には、業界大手のツクイさんに入ってもらえることになりました。全国規模で事業を行なう会社ですので非常に安心感がありますし、施設も長く続いてくれることと期待しています」

JAさっぽろでは、資産管理事業を通じて組合員皆さまのお役に立てるよう様々な提案・相談・サポートを行なっております。資産形成に関するご相談は、各支店の不動産プラザまでお気軽にご連絡ください。

# 決算棚卸に伴う経済センター臨時休業のお知らせ

## 3月31日(水) 臨時休業

各経済センター店舗は決算棚卸のため、上記日程を臨時休業とさせていただきます。  
組合員の皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。



# 東経済センター厚別直売所 冬季休業延長のお知らせ

東経済センター厚別直売所の冬季休業期間を当初の予定から1ヶ月延長し、4月1日(木)より営業を開始することとなりましたので、お知らせいたします。担当職員は、東経済センターで勤務しておりますので、お問い合わせ等は下記へお願いいたします。

組合員の皆さまには、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。



### 東経済センター

札幌市清田区真栄1条1丁目1番17号 TEL 011-883-2570 / 080-3262-6951 (担当:阿部)

## JAさっぽろDATA

(令和2年12月末業務実績) (令和2年11月末業務実績)

組合員数	正組合員	3,617名	正組合員	3,618名
	准組合員	32,019名	准組合員	31,866名
	合計	35,636名	合計	35,484名
出資金残高	64億5千6百万円		64億5百万円	
販売取扱高	16億7千3百万円		15億4千1百万円	
購買供給高	7億2千2百万円		6億9百万円	
貯金残高	3,385億2千6百万円		3,347億4千5百万円	
融資残高	897億4千8百万円		895億3千万円	
共済保有高	5,917億8千5百万円		5,921億8千2百万円	
施設建設取扱高	5億1千9百万円		5億1千9百万円	
管理受託戸数	4,537戸		4,531戸	

理事会だより

第8回定例理事会

令和2年11月30日(月)午後1時00分より本店役員会議室において第8回定例理事会が開催された。

●監事会報告事項

1、令和2年度仮決算監事監査報告

●協議事項

1、『ハラスメント防止規程』の一部改正について

JA北海道中央会からの規程例の改正並びに「労働施策総合推進法」の改正に伴う所要の整備である事が説明され、可決決定。

2、『安全衛生規程』の一部改正について

現行の「労働安全衛生法」に基づく政令で定める一定の基準に沿った所要の改正である事が説明され、可決決定。

3、令和2年度年末手当(賞与)の支給について

令和2年度事業実績見込み及び令和2年度年末手当は2・0カ月分として12月10日に支給する事が説明され、可決決定。

4、大口融資案件の取り扱いについて

平岸支店扱いの大口融資1件について、申込事項・取組経過・資金計画・財務状況・保全状況・弁済見込み等が説明され、可決決定。

●報告事項

1、令和2年9月期半期ディスクロージャー誌について

2、10月末財務状況報告

3、10月末組合員加入・脱退状況  
4、11月の動静と12月の予定について  
(閉会・午後2時14分)

第9回定例理事会

令和2年12月25日(金)午後1時00分より本店役員会議室において第9回定例理事会が開催された。

●協議事項

1、令和2年度仮決算監事監査回答書について

令和2年11月2日から11月13日まで(3日、7日、8日を除く)に実施された令和2年度仮決算定期監査および令和2年9月30日に行なわれた経済部・経済センター棚卸仮決算監査での「改善願いたい事項」に対する回答(案)が説明され、可決決定。

2、令和3年理事・監事報酬の役員報酬審議会

への諮問について

令和3年7月から翌年6月までの理事報酬総額及び監事報酬総額は、理事が6,000万円、監事が1,700万円の範囲内で諮問する事が説明され、可決決定。

3、『育児および介護休業規程』の一部改正について

令和3年1月1日施行の育児・介護休業法の改正に伴う、子の看護休暇や介護休暇を時間単位で取得できる事による所要の整備が主な改正である事が説明され、可決決定。

4、大口融資案件の取り扱いについて

清田支店扱いの大口融資1件について、申込事項・取組経過・資金計画・財務状況・保全状況・弁済見込み等が説明され、可決決定。

況・弁済見込み等が説明され、可決決定。

●報告事項

1、みのり監査法人による期中監査Ⅱ経過報告

2、令和2年度経営監査報告

3、令和2年度(11月実施)組合員アンケート集計結果について

4、常勤理事並びに参事による

組合員全戸訪問の実施について

5、篠路駅東口土地区画整理事業の経過報告について

6、令和2年度第4四半期余裕金等運用計画額及び運用方針について

7、令和2年度予約購買奨励金並びに肥料引取奨励金の交付について

8、直売所等に係る販売実績について

9、11月末財務状況報告

10、11月末組合員加入・脱退状況

11、12月の動静と1月の予定について

(閉会・午後3時20分)

# JA共済の地域・農業活性化推進事業を活用 箱わなを設置し有害鳥獣被害を対策

当JAでは、JA共済の地域・農業活性化推進事業を活用し、有害鳥獣による農産物被害防止のため、33台の箱わなを購入しました。

JA共済の地域・農業活性化推進事業は、地域の活性化や農業経営に貢献する取り組みとして、JA共済連と各JAが連携し、担い手サポートセンターの活動支援や鳥獣被害対策、農業体験イベントなど様々な取り組みを行なっています。

札幌市内の圃場においては有害鳥獣による農産物の被害が拡大しています。当JAでは、保有する箱わなを既に各地区の圃場に設置していますが、不足する状況が続いています。

今回購入した箱わなは、アライグマやキツネ等の捕獲を目的としたもので、購入費用の全額が地域・農業活性化推進事業の助成金で賄われました。箱わなは、各経済センターに配置しておりますので、貸し出し等希望される組合員の方は、お近くの経済センターまでお問い合わせください。



## さとらんど

さとらんどにて、様々な講座を実施中!

### おうちカフェ講座

#### パンケーキでワンプレートランチづくり

- 日 時: 3月25日(木) 10時30分~12時30分
- 場 所: さとらんどセンター
- 定 員: 12名
- 参加費: 1,500円

3月16日(火)  
から受付開始!



※各講座・お申込についての詳細は、さとらんどセンターに直接お問い合わせください。

【お問い合わせ】サッポロさとらんど 〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2 TEL(011)787-0223